

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「PF通信(PF通信機能)」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)
■オレンジ網掛けセルは、必ず記入してください
■黄色網掛けセルは、必要に応じて記入してください

APPLIC登録番号: K000702-0021 ★APPLICで記載

※赤字部分は、V3.9からV4.0の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2025
 ・プラットフォーム通信標準仕様V3.4
 ・アーキテクチャ標準仕様V3.4

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2025年11月14日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名:	株式会社シーイーシー	★識別キー項目1 (識別キー項目4つでユニークになるように申請者が指定する)
団体のURL:	https://www.cec-ltd.co.jp/	
APPLIC会員番号:	K000702	

(d) 製品情報

代表製品名:	WonderWebLG	★識別キー項目2 (オプション)
製品説明のURL:	https://public.cec-ltd.co.jp/	(オプション)
複数製品で構成する場合追記:		(オプション)
複数製品で構成する場合追記:		(オプション)
複数製品で構成する場合追記:		(オプション)

製品識別情報(バージョン等): Ver.6 ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日): 2025年6月17日

対応OS: サーバ:Windows Server 2021、クライアント:Windows 11 Professional

対応TCP/IPバージョン: Version 4

(e) 製品のクラウドでの提供について
提供の有無: 構築実績あり & サービス提供中

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク(オプション)
LGWAN:
専用線(閉域網):
インターネット:

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

製品を申請する対象を選択する(★識別キー項目4)⇒

確認欄への記入: ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内/ 外/共通	サイト内・外対応のPF通信製品申請			
				PF対応のSOAPミドルウェア製品申請	サイト内のPF通信製品申請	サイト内・外対応のPF通信製品申請	APPLIC確認欄
製品・システム確認欄	APPLIC確認欄	製品・システム確認欄	APPLIC確認欄	製品・システム確認欄	APPLIC確認欄	製品・システム確認欄	APPLIC確認欄
1 【ミドルウェア的要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)				◎	◎	◎	○
1-1 TCP/IPによる通信が可能であること(CS-R020001)	必須	共通		◎	◎	◎	○
1-2 HTTPは、HTTP1.1を使用する(CS-R020002)	必須	共通		◎	◎	◎	○
1-3 SOAPは、SOAP1.1を使用する(CS-R020003)	必須	共通		◎	◎	◎	○
1-4 SOAP通信は、Basic Profile 1.0に準拠すること(CS-R020004)	必須	共通		◎	◎	◎	○
1-5 サイト内における通信セキュリティを実現できること							
1-5-1 TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のサーバ認証が利用可能であること(CS-R050001)	選択	サイト内		◎	◎		
1-5-2 TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のクライアント認証が利用可能であること(CS-R050001)	選択	サイト内		◎	◎		
1-5-3 HTTPベーシック認証が利用可能であること(CS-R050001)	選択	サイト内		◎	◎	◎	
1-5-4 TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)による通信路暗号が利用可能であること(CS-R050002)	選択	サイト内		◎	◎		
1-6 サイト間における通信セキュリティを実現できること	必須	サイト間				◎	
1-6-1 TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のサーバ認証が利用可能であること(CS-R050001)	必須	サイト間				◎	
1-6-2 TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)のクライアント認証が利用可能であること(CS-R050001)	必須	サイト間				◎	
1-6-3 TLS 1.2 (TLS 1.3はオプション)による通信路暗号が利用可能であること(CS-R050002)	必須	サイト間				◎	
1-7 添付ファイルのサポートができること(CS-R020006)	選択	共通		◎	◎	◎	
1-7-1 SOAP Messages with Attachments を利用可能であること(CS-R020007)	条件付き 必須(※)	共通		◎	◎	◎	
1-8 異常系処理に対応できること							
1-8-1 メッセージ送信側のSOAP処理系は、TCP/IP,HTTPレベルで検知した障害を、MEP実行系を持つ上位アプリケーションに通知できること(CS-R060005)	必須	共通		◎	◎	◎	
2 【サービス基盤的要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)							○
2-1 標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること(CS-R032001)	必須	共通				◎	
2-2 標準仕様書で定義するサービスインターフェース定義に対応できること	必須	共通				◎	
2-2-1 PF準拠のWSDL定義に対応するサービスインターフェースを提供できること(CS-R032003)	必須	共通				◎	
2-2-2 PF準拠のWSDL定義に対応し公開されるサービスを利用できること(CS-R032003)	必須	共通				◎	
2-3 標準仕様書で定義する電子封筒形式のメッセージを交換できること(CS-R020005)	必須	共通				◎	
2-4 標準仕様書で定義する添付ファイルの形式に対応できること(CS-R020006)	選択	共通				◎	
2-4-1 メッセージ本体格納型および添付型で添付ファイルを交換できること(CS-R020007)	条件付き 必須(※)	共通				◎	
2-5 標準仕様書で定義するデータ交換システムパターンに対応できること(CS-R020008, CS-R020010)	選択	共通				◎	
2-5-1 データ交換システムパターンをサポートする場合(CS-R020008)、[Type1]、[Type2]、[Type3]、[Type4]、[Type5]のどれかをサポートしなければならない。(CS-R020009)	条件付き 必須(※)	サイト内				◎	
2-5-2 データ交換システムパターンをサポートする場合(CS-R020010)、[Type1]、[Type2]、[Type4]の全てを使用できること。(CS-R020011)	条件付き 必須(※)	サイト間				◎	
2-6 標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンと異常系処理に対応できること	必須	共通				◎	
2-6-1 メッセージ交換パターンとして、「リクエスト型受領Ackあり」「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」「リクエスト・レスポンス型受領Ack+非同期型レスポンス」の3つのパターンを利用できること(CS-R060001～CS-R060004)	必須	共通				◎	
2-6-2 メッセージ交換パターン処理系にて、障害を検知した場合、標準仕様書で定義する異常系処理を行えること(CS-R060006,CS-R060007, CS-R060009)	必須	共通				◎	

※「条件付必須」とは、すぐ上の準拠ルール(選択)を対応とする場合、当該ルールへの対応が必須となることを示す

備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)